地方創生関連事業に関する実績検証資料　【 令和 2 年度 】

担当課・外部検証委員の評価　A:このまま継続　B:改善・見直し　C:廃止・終了

地域再生計画名	地方創生関連制度名	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費（単位:円）	総事業費（単位:円）	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証 ①（KPIに関する検証については、計画申請課が総括）		外部検証委員の検証	
					指標	本年度見込値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
引き出せ能力・伸ばせ才能・子育て応援プロジェクト	地方創生拠点整備交付金 (1/2国庫補助)	【子ども子育て支援拠点施設整備事業】 益子町育脳プログラムの活用による未来にはばたく人財の育成及び子育てを地域ぐるみで育む環境づくりを目指すための拠点として、子ども子育て支援施設を設置する。子どもや若い世代を中心とした多世代交流、情報交換や催し物を開催し、併せて、空き店舗の活用により街中の活性化を図る。 町外からの子育て中の若い世代の利用も積極的に受け入れることで、町内外者の世代間交流から若い世代の移住・定住を促進する。 【担当課:健康福祉課】	■施設運営 ・5月末までは新型コロナウイルス感染対策の一環で一部学童クラブに代わり小学生の受け入れを行った。6月以降はコロナ対策に努めながら、作業療法士によるプログラムを取り入れたり親子ヨガを開催したほか、ひな祭りイベントを通して高齢者との世代間交流も行った。また、乗用屋外遊具を購入するなど施設の充実を図った。 【事業費】11,098,252円 人件費、通信費、光熱水費、消耗品費、備品購入費 ■施設修繕 ・雨水侵入による軒天破損。屋根の防水シート張替えと軒天修繕工事実施。 【事業費】924,000円 修繕費	12,022,252	①施設利用者数 基準値:0人 ②年間出生数 基準値:164人 (4～3月) ③人口の社会動態 基準値:▲24人 (4～3月)	①2,000人 ②185人 ③±0人	①4,857人 ②71人 ③▲185人	B 改善・見直し	①については、コロナ対策による利用地域の制限も行ったため昨年より減っているが、見込値(目標値)には達している。 今後もコロナ対策に配慮しながら事業内容の工夫・充実に努め、利用者を増やしたい。 ②③については、見込値に達しなかった。出生数については元々の減少傾向に加えコロナが影響していると思う。KPIの達成に少しでも寄与できるよう子育て世代に愛される施設にしたい。 また、ファミリーサポートセンターが身近な制度になるよう周知等工夫したい。	A このまま継続 3委員 B 改善・見直し 1委員	コロナ禍なので制限をしながら、このまま継続すべき。参加人数は少ないと思うが、宣伝をしつつ今後につなげられたい。 ①今年度はコロナのため利用者数は減少しているが、より内容の充実を図り利用者の増加に努めていただきたい。 ②③については、この事業が大きな要因とは考えにくい。昨年度は他市町からの利用者もあり、このまま事業の継続を求めたい。 ①については、コロナ禍でも開催できるイベントを考え、取り入れたことが利用者増につながりよかったと思う(当初目標と比較)。新しく購入した遊具や施設内の様子をSNSで動画配信するとよいのではないか。 ②③は町の大きな課題であり、今後の町の財政のためにも、若い世代の移住・定住者を呼び込むための施策が必要。町の魅力、子育てに適した環境を動画にまとめ、明るく楽しく、笑顔あふれる益子をSNSで配信し、若い世代にPRしていただきたい。